

2021年ご報告(1月～12月)

ねこ関連のご報告

<メディア出演の多い1年でした>

2021年は雑誌に始まり、TVなどの露出が多い1年でした。コロナ禍で厳しいことも多かった半面、メディアさんのおかげでねこたちのことを知ってもらうことができ、とてもありがとうございます。同時に、ご寄付やフードの寄付が増え、島の負担が減りました。レボリューションを80匹分購入することもでき、まだ資金にも余裕があります。

2021年1月 にゃっぶる発売

2021年8月 BSTBS ねこ自慢(7月取材)

NHK 離島で発見!ラストファミリー物語(7月取材)

2021年9月 るぶねこ旅 発売

2021年10月 坂上どうぶつ王国取材(2022年1月放送)

<グッズ販売>

寄付に頼るだけでない自己財源の確保を目的とし、雑貨などの販売に力を入れています。カレンダー、キーホルダー、ハンカチ、タオル、サコッシュ、エコバッグに加え、ステッカーの試作もしました。販売は主に深島食堂での店頭販売とネット販売、道の駅での販売です。ふるさと納税も毎年順調にいただけており、寄付に加えグッズの販売利益も大きな収入源です。

<啓発>

メディア出演に際し、必ず「深島のねこたちは、もっとたくさんの外猫が幸せになれる取り組みの一助として取り上げていただけるのであれば、取材お受けします」という約束で取材を受けています。間違ったことを伝えないように、外猫や島のねこが素晴らしいのではなく、もっともっと救わなければならない命がたくさんあること、みんなが少しずつやれば買われるよ、と伝えることを目標にしています。

<ファンクラブ>

ファンクラブの会員様が30名を超えました。

なかなかお知らせやお写真をお送りできていませんが、定期的に寄付をくださる方が増え、大変助かっています。

<医療など>

春に実家の地域ねこが足を罠にはさみ、病院に連れて行きました。その際にレボリューションを購入し、つけられる子にはつけました。地域ねこ(ハナキリ)は足もすっかり良くなりましたが、家では飼えず島のばあちゃんちのねこになり、島を自由にうろうろしています。年末に再度レボリューションを購入しました。そろそろワクチンも打ちたいと考えています。

<環境整備>

ねこたちのトイレをいくつか新調しました。海の砂を入れ、草も生えにくくなり、よく使ってくれています。

長期滞在してくださる写真家ご夫婦が代表の産前産後、ねこたちのお世話をしてくださいました。謝礼をお支払いしました。

2021年ご報告②

ねこ関連以外のご報告

<清掃活動>

草刈り、ごみ拾いなどを行いました。

<花いっぱい運動>

佐伯市の花のあるまちづくり事業に参加し、集会所近辺、みそ施設前の花壇に植えました。4月5月に花壇の整備をしました。ガザニアや芝桜などを増やしたいと考えています。

収支

項目	支出（円）	
ねこエサ代・管理費 ガソリン代	76312 7311	
医療費	134052	
販売手数料 支払手数料	4590 1430	
仕入れ・製作費 花など（美化活動）	289833 1542	
消耗品・郵送費など 手当・事務手数料	43432 200000	
雑費 委託費	25000 59000	2021年GW写真展開 催費
印刷・広告費 ねこ図鑑	6510 10560	
計	859,572	

項目	収入（円）
寄付	750650
募金	5200
販売収益	506362
その他（利息）	5
計	1,262,217

残金	
現金	98,686
ゆうちょ	837,176
大分銀行	58,595
計	994,457

* 販売収益には4月～の深島ねこ図鑑の売り上げが含まれており、2022年に観光協会に7割（3割は販売手数料としていただける）振り込む予定です。また、12月のふるさと納税の寄付金86,500円は1月に受け取る予定です。

今後の活動について

2022年のスケジュール（予定）

1月 坂上どうぶつ王国 放送

3月 花壇の手入れ

4月 ねこトイレ手入れ

6月 花いっぱい運動

7月 島内清掃

8月～ 未定

※毎日のねこたちのお世話や生活環境の改善、ケア、往診のおねがいなども行います。

※SNSでの発信、ホームページの更新なども随時行います。

深島食堂と宿のリニューアルのため、しばらくは環境整備と日頃のケアなどに力を入れる予定です。

お知らせ（深島のねこたち出演情報）

・ simabossnekoさんの写真集

「キス猫～すりすり、ぎゅっと」

代表より

2021年もたくさんの方に支えられ、ねこたちも私たちも飢えることなく幸せに暮らすことができました。なによりもTVの力を痛感しました。でも、もっともっと、伝えたいことがあるのに、どうして「かわいい」と「かわいそう」しか伝わらないんだろう、もっとメディアにも頑張ってほしい！！と強く思いました。

猫が好きな人も、そうでない人も、できることがあるはず。もっともっとひとにもどうぶつにもやさしい世の中になりますように。